

いろいろな使いかた

その他設定

便器の水たまり面を下げる
(水の跳ね返り低減や検便のときなど)
水面下げる

便器とウォシュレットの水を
一定の間隔で自動で流す
凍結防止

電子音を
鳴らす/鳴らさない
電子音

1 ☐ メニュー/戻る 押す

2 ☐ で「その他設定」
☐ を選ぶ

メニュー 1/4
1. お手入れ
2. 節電
↓で選ぶ⇒ [●決定] 押す

メニュー 4/4
3. オート機能
4. その他設定
↓で選ぶ⇒ [●決定] 押す

→ ☐ 押す

3 ☐ で「水面下げる」
☐ を選ぶ

その他設定 1/9
1. 水面下げる
2. 凍結防止 切
↓で選ぶ⇒ [●決定] 押す

☐ 押す

便器内の水が流れて
低い水位でたまる

〈設定完了〉

(戻るとき→ ☐ メニュー/戻る MENU/RETURN)

お知らせ

- 検便時に使用するときには「オート便器洗浄」を「切」にしてください。(P.30)
- 便器洗浄すると、通常の水面の高さに戻ります。
水面を下げて使いたい場合に、
都度設定してください。

3 ☐ で「凍結防止」
☐ を選ぶ

その他設定 2/9
1. 水面下げる
2. 凍結防止 ◀切▶
↓で選ぶ⇒ [●決定] 押す

4 ☐ で「入/切」
☐ を選ぶ

〈「入」に設定する場合〉
設定すると約10分間隔で便器洗
浄して凍結を防止します。

その他設定 2/9
1. 水面下げる
2. 凍結防止 ◀入▶
↓で選ぶ⇒ [●決定] 押す

☐ 押す

数分間隔で
便器洗浄します
設定する? ◀はい▶
↓で選ぶ⇒ [●決定] 押す

☐ 押す

凍結防止を
入に設定しました

(戻るとき→ ☐ メニュー/戻る MENU/RETURN)

3 ☐ で「電子音」
☐ を選ぶ

その他設定 3/9
2. 凍結防止 切
3. 電子音 ◀入▶
↓で選ぶ⇒ [●決定] 押す

4 ☐ で「入/切」
☐ を選ぶ

その他設定 3/9
2. 凍結防止 切
3. 電子音 ◀切▶
↓で選ぶ⇒ [●決定] 押す

☐ 押す

電子音を
切に設定しました

(戻るとき→ ☐ メニュー/戻る MENU/RETURN)

汚物が流れにくいとき
**便器洗浄水量
6Lモード**

汚物が流れにくいとき
**便器洗浄水量
8Lモード**

「故障かな?と思ったら」の「汚物がきれいに流れない」(P.65、66)の内容をご確認のうえ、必要な場合のみ
設定を行ってください。

「便器洗浄水量8Lモード」に設定している場合は、8L
モードの設定を解除してから行ってください。

「便器洗浄水量6Lモード」に設定している場合は、6L
モードの設定を解除してから行ってください。

1 ☐ メニュー/戻る 押す

2 ☐ で「その他設定」
☐ を選ぶ

メニュー 1/4
1. お手入れ
2. 節電
↓で選ぶ⇒ [●決定] 押す

メニュー 4/4
3. オート機能
4. その他設定
↓で選ぶ⇒ [●決定] 押す

→ ☐ 押す

3 ☐ で「便器洗浄
水量6Lモード」
☐ を選ぶ

その他設定 5/9
4. 水勢洗浄位置記憶
5. 便器洗浄水量 6L モード
↓で選ぶ⇒ [●決定] 押す

4 ☐ 押す

押すたびに切り替わる

便器洗浄水量を6 Lに変更

「する」とき 「しない」とき
ビッ ピーツ

床排水の場合は洗浄水量が、大3.8 L/小3.0 L
→大6.0 L/小5.0 Lになります。
(壁排水の場合は、大4.8 L/小3.4 L
→大6.0 L/小5.0 Lになります。)

3 ☐ で「便器洗浄
水量8Lモード」
☐ を選ぶ

その他設定 6/9
5. 便器洗浄水量 6L モード
6. 便器洗浄水量 8L モード
↓で選ぶ⇒ [●決定] 押す

4 ☐ 押す

押すたびに切り替わる

便器洗浄水量を8 Lに変更

「する」とき 「しない」とき
ビッ ピーツ

床排水の場合は洗浄水量が、大3.8 L/小3.0 L
→大8.0 L/小6.0 Lになります。
(壁排水の場合は、大4.8 L/小3.4 L
→大8.0 L/小6.0 Lになります。)

使
い
か
た

こんなときは

製品内に記憶されている「スマートフォンとの通信設定と計測データ」をすべて削除したいとき

引っ越しや製品を廃棄する場合など、製品内に記憶されている「スマートフォンとの通信設定と計測データ」をすべて削除したいときは「ペアリング初期化」を行ってください。(P.43)

お知らせ

- ペアリング初期化を行うと、登録されている全員の「スマートフォンとの通信設定と計測データ」が削除されます。特定の個人番号情報のみ削除したい場合は、サポートページ (P.16) のヘルプを参照してください。

凍結予防をするとき

外気温が0℃以下になるときは、凍結予防を行ってください。

• 便器の種類によって凍結予防のしかたが異なります。便器の種類に合わせて、作業してください。

お願い

- 外気温が0℃以下になるときは、節電しないでください。(製品が破損するおそれ)
- 周囲の温度が0℃以下にならないよう、トイレ内を暖めるか、凍結予防を行ってください。
- 作業前に、「オート便器洗浄」(P.30)「オートふた開閉」(P.32)を「切」にしてください。

流動方式(ヒーター付便器・水抜併用方式以外)

便器とウォシュレットの水を、一定の間隔で自動で流して、凍結を予防する方法です。

■設定のしかた (P.38)

- リモコンで「凍結防止」を「入」にしてください。

凍結防止中は、次のように作動します。

- 「運転」ランプが点滅する
- 約10分間隔で便器洗浄(約4.8 L)する
- 約50 mlの水が約5分間隔でノズル付近から出る(ノズルは収納したまま)



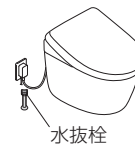
ヒーター付便器・水抜併用方式

1

水抜栓を操作して、給水を止める

お願い

- 止水栓は開けたままにしておいてください。(製品内部の水が抜けずに凍結破損するおそれ)



2

ノズルきれい WAND CLEAN 押す

- 給水管の圧抜き

3

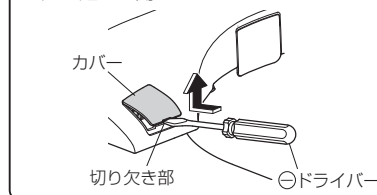
電源プラグを抜く

4

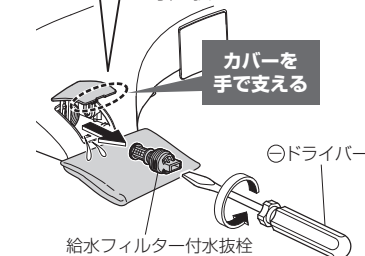
配管の水を抜く

①便座・便ふたを開ける

②カバーの切り欠き部に⊖ドライバーを差し込んで開ける



③給水フィルター付水抜栓を⊖ドライバーでゆるめて、引っ張る



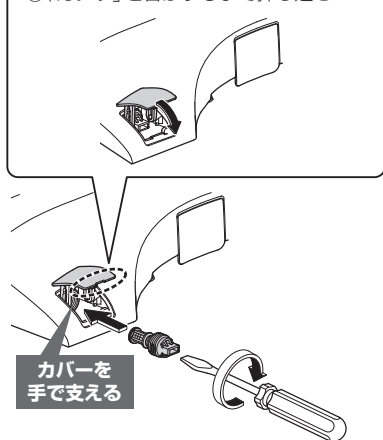
必要なとき

ヒーター付便器・水抜併用方式 (つづき)

5 給水フィルター付水抜栓を取り付け、カバーを閉める

- ①給水フィルター付水抜栓を押し込み、
⊖ドライバーで確実に締める

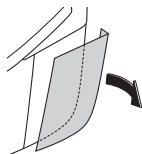
②「カチッ」と音がするまで押し込む



6 電源プラグを差し込む

- ・「運転」ランプが点灯する

7 すっきりパネル(右)を取りはずす



8 タンクの水を抜く

- ・すっきりパネル裏面のラベル
「タンク内水抜き作業手順」参照

9 便座温度を「高」にする (P.22、23)

- ・保温のため、作業後は便座・便ふたを閉めておく

■再度ウォシュレットをお使いになるときは
・再通水が必要です。(P.62)

お知らせ

- ・ヒーター付便器は室温が5℃以下になると自動でヒーターが入ります。
- ・凍結のおそれがないときは、ヒーター付便器の電源プラグを抜いておいてください。

別荘などのトイレを長期間使わないときは、水抜きをしてください。

(製品内の水が腐敗して皮膚の炎症などをおこす原因)(凍結して製品破損などをおこす原因)


お願い ・凍結のおそれがあるときは、凍結予防を行ってください。(P.59)(製品が破損するおそれ)

ご注意 ・「お掃除リフト」(P.47)で本体が上がった状態での水抜きはしないでください。

水抜きのしかた

- 1 ■流動方式(ヒーター付便器・水抜併用方式以外)のとき
止水栓または元栓を閉める (P.4)
■ヒーター付便器・水抜併用方式のとき
水抜栓を操作して、
給水を止める (P.59手順①)

お願い
・止水栓は開けたままにしておいてください。

- 2  を押してタンクの水を抜く ※1

- 3  ノズルきれい WAND CLEAN 押す
(給水管の圧抜き)

- 4 電源プラグを抜く

- 5 配管の水を抜く (P.59、60手順④⑤)

■凍結のおそれがあるときは
・便器のたまり水(封水)に不凍液を入れるなどして凍結しないようにしてください。
(不凍液はそのまま流さず、使用前に回収し、廃棄処分してください。)

■再度ウォシュレットをお使いになるときは
・再通水が必要です。(P.62)